

新県立美術館に期待する事業・取組に対するご意見と県担当部局・指定管理者(信濃美術館)の考え方

- 意見募集期間 令和2年7月8日(水)から8月7日(金)まで(32日間)
- 意見総数 77件(42名)

No.	整理区分	ご意見の内容※一部原文を省略しています	県担当部局・指定管理者(信濃美術館)の考え方
1	建築コンセプト	バリアフリー化が確実に実行されることを願う。	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」の建築物移動等円滑化基準、及び「長野県福祉のまちづくり条例」の特定施設整備基準に合致させることはもとより、地階を除く各階については、直接外部と出入りできるようにしています。
2	建築コンセプト	新生美術館の活用に大いに期待。自由に使用できるイベントホールがあったらと思う。	地下1階の多目的ルーム(305㎡)では小規模なイベントが開催できます。
3	建築コンセプト	環境負荷軽減について、デザイン重視で、エントランス等にガラス壁を多用されているが、ガラスは冷暖房の効率が悪く、冷暖房費が多額となる。環境負荷軽減をどのように考えているか。	外部建具は、高断熱の建具を採用するとともに、ガラスも含めて断熱性能試験を実施し、断熱性能が高いことを確認しています。また、ガラス面以外は外断熱工法としています。さらに、地中熱を利用した空調システムや太陽光発電設備を採用し、環境負荷を低減しています。
4	建築コンセプト	ランドスケープ・ミュージアムを前面に出して取り組んでほしい。	ご意見の趣旨に沿うよう取り組んでまいります。
5	建築コンセプト	長野県らしい景観を意識した建物の配置とコンセプトに期待する。	
6	建築コンセプト	自然の地形を考えた設計で館内のスペースもよくレイアウトされ来春が楽しみです。	
7	建築コンセプト	建築の3つのコンセプトがとても良い。風景や歴史、暮らしなど、信州の中になじむことで、より多くの人に親しまれる美術館になりそう。	
8	建築コンセプト	新しく生まれ変わる美術館を期待し、楽しみにしている。	
9	無料ゾーン	ソフト面では、カフェやラウンジのサービス充実も必要。	快適な飲食空間の中で心地よいサービスと期待を裏切らない料理を提供できる店舗を選定します。
10	無料ゾーン	特色のある喫茶・料理の提供	カフェレストランについては、美術館閉館後の営業も検討しています。
11	無料ゾーン	ライブラリーがあることがうれしい。そこでしか見ることができない書籍を入れてほしい。	アート・ライブラリーでは、絵本や美術雑誌のほか、専門書などを置く予定です。また、展覧会図録などの収集を充実し、館の内外から美術に関係する書誌の情報を検索できるようにします。
12	無料ゾーン	鑑賞目的以外に行きたいと思わせる設備・ソフトの充実。	鑑賞や展示以外の施設として、チケットがなくても、交流スペース、カフェレストラン、ラウンジ、ミュージアムショップ、アート・ライブラリー、屋上広場などの施設がご利用いただけます。
13	無料ゾーン	展示だけでなく、日々、交流できる場にしてほしい。	

14	無料ゾーン	触れる美術作品のコーナーを楽しみにしています。全国的に注目される美術館運営は大変と思いますが、観光の目玉として頑張ってください。	小さなお子様や身体にハンディキャップのある方が気軽に触れることのできる美術作品を無料ゾーンに常設展示します。
15	熱中症対策	公園広場に東屋の設置。屋上広場に屋根の増設。ミスト噴水の設置。	<ul style="list-style-type: none"> 公園広場の熱中症対策については長野市と共有します。 美術館の屋上広場に屋根を増設することはできませんが、庇があります。また、イベント開催時にテントが張れるよう固定式アンカーを埋設します。
16	駐車場	駐車場が狭い。	駐車場のスペースは限られているので、城山公園内、善光寺周辺の駐車場をご利用ください。また、管理、コストの面から立体駐車場は設置しないことしました。
17	駐車場	駐車場の確保が気掛かりです。	
18	駐車場	駐車場が必要。東山魁夷館側の駐車場を立体にしたらどうか。	
19	駐車場	駐車場が心配。県展等で作品を搬入する場合、全天候に対応できるよう屋根や凍結時に滑りにくい材質にしてほしい。	
20	避難所	城山公園は避難所に指定されており、屋上広場を含め美術館で避難者を受け入れる準備はあるか。	長野市、地域の皆様と相談しながら検討します。
21	コロナ	観光客が多い場所なので、コロナ対策を考えてほしい。	先行オープンした東山魁夷館では、日本博物館協会のガイドラインに基づき感染予防策を講じています。新美術館の密集対策として、新たに日時指定チケットシステムの導入を計画しています。
22	コロナ	コロナ過の中、訪れる人たちの「心」が休まる空間にしてほしい。そのためにも、スタッフの姿勢が大事であるので、スタッフが安心して仕事ができるように職務環境も整えてほしい。	
23	特徴	県立ならではの特徴が見えない。	長野県が設置する唯一の美術館として、県内美術館の中核的役割を果たすべく、「鑑賞」「学び」「交流」の3つの柱により各事業を展開します。
24	交流・鑑賞	善光寺、城山公園を含めて、人々が集う快適な交流の場、鑑賞の場としての役割に大いに期待している。	善光寺や城山公園を訪れる多くの方にも、美術館にご来館いただけるよう、善光寺、長野市と連携しながら取り組みます。
25	観光	他県に負けない善光寺に来た観光客が訪れる美術館を期待します。	
26	期待	説明会の説明のとおりだと、大いに期待できる。	ご意見の趣旨に沿うよう取り組んでまいります。
27	情報発信	美術館に行くのがワクワクするような、世界の若者が SNS 等で拡散するような、魅力的な展覧会を開催してほしい。	SNS 時代を踏まえた展覧会や美術館の魅力発信に取り組みます。
28	企画展	常に新しい企画と世界の名画の展覧会を展開し、活力ある運営を期待。	国際的な展覧会や国宝・重要文化財を含む日本美術の大型企画展を開催する予定です。 県内美術館と連携し、美術館のコレクション（収蔵作品）を用いた交流展、移動展を開催する予定です。 「自然と人の共存・共栄」をテーマに、従来のコレクション領域を拡充し、長野県ゆかりの作品だけでなく、国内外の優れた作品の収集や近現代の美術作品の拡充を図ります。
29	企画展	松方コレクションを初めて信濃美術館で見て美術館の価値を知りました。これからも内容の濃い展示をお願いしたい。	
30	企画展	県内の他の美術館の収蔵品も見られる企画展を開催してほしい。東京に行かなくても、全国的な巡回展を見たい。	
31	企画展	世界の名画や顕著な作家の展覧会又は巡回展を希望します。	
32	企画展	世界や日本国内の一流の画家や美術品の展覧会、あるいはユニークな企画展を多く開催し、県民がそれらの芸術作品を鑑賞する機会を提供していただきたい。	

33	企画展	信濃美術館の収蔵作品は、私の知る限りだが、県内にゆかりのある画家の作品が主であり、作品や画家の知名度は必ずしも高くないのではないのでしょうか？（東山魁夷館は別として）県外からの集客を考えるとときには、全国的な視点をもって展覧会の企画をすると良いのではないかと思います。	
34	企画展	美術館の本質である美術作品の展示 ・話題性のある企画展、人を呼べる常設展示	
35	企画展	適切な全国規模の巡回展と、信濃、長野県の地域文化の発掘、振興に資する企画展をバランスよく実施してほしい。館外からの企画に依存した展示会に偏らないでいただきたい。	
36	企画展	世界的レベルの展示ができるよう予算を確保してほしい。	企業協賛などのファンド・レイジングに取り組み、必要な予算の確保に努めます。
37	企画展	県民の美術活動、団体展、個展などの自主的な活動の中から作品をすくい上げ、後世に伝える活動があってほしい。例えば、県立美術館主体の公募展など。	県立美術館が主体となる公募展の実現にはさまざまな課題がありますが、団体展や個展など県民の皆様の美術活動につきましても、調査・研究の対象として注視してまいります。
38	企画展	オープン之年は素晴らしい企画展をお願いしたい。	これまでの美術館では開催できなかった大規模な企画展を開催します。また、オープニングイベントを開催し新県立美術館のオープンを県内外にPRします。
39	企画展	毎年12月第1週の全国障害者週刊にあわせ障がい者の美術展を開催してほしい。	障がい者の美術展については、何らかの形での開催を検討します。
40	企画展	・県立美術館として、長野県で今まで培われてきた洋画、日本画、彫刻、工芸、書道などの流れ（系譜）について説明するとともに、その中で貢献した指導者等の顕彰をしてほしい。	お寄せいただいたご意見は、展示解説の中で対応を検討します。
41	企画展	長野県出身者による企画展の開催 長野県内美術館の所蔵する、県内出身者の絵画（油絵、水彩画、日本画等を順番に）を集めた企画展を希望します。	県立美術館として企画展を構想するにあたり、県内出身の作家を取り上げたいと考えています。また、県内各美術館が所蔵する名品を集めて展示するというご意見は参考にさせていただきます。
42	企画展	企画展には学芸員の他、他県の専門員なども入れてほしい。	通常の企画展においても、共催の場合には、他県他館の学芸員と協働しますし、内容により大学教員などの専門研究者の協力を得ることもあります。
43	企画展	信濃美術館には膨大な所蔵品があり、その中には寄贈された作品も多いが、それらの所蔵品を見る機会はほとんどなく眠ったままになっている。しかし、寄付された作品は、長野県の芸術文化の発展に寄与した作者の代表作でもあり、公開を望むファンもいることから企画展の開催等を通じて広く紹介すべきだ。特に、菱田春草、池田満寿夫、松	本館では4,600点余りの作品を収蔵しており、新たに常設展示室を設け、年6回程度コレクション展を開催する予定です。

		井康成などの作品は美術館の宝であり、もっと効果的な公開を考えるべき。	
44	コレクションポリシー	新美術館の特徴（個性）とも言える「コレクションポリシー」を早期に決定し、県民に説明していただきたい。	信濃美術館では、平成30年（2018年）11月にコレクション・ポリシー（収集方針）を策定しました。方針は以下のとおりです。 （1）長野県出身または長野県に關係の深い芸術家の優れた近現代美術の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）、（2）美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、および「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品、（3）日本および海外の近現代美術史上の重要作品、（4）近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群および美術資料群
45	コレクションポリシー	美術館は主にその所蔵作品の特長でその美術館のイメージが、個性が決まるように思う。目玉となる所蔵作品の有無、あるいはコレクションの一貫性は美術館の個性を決める大きな要素だが、庭園や美術館の建築物としての価値を特長としている美術館もある。長野県立の美術館として、何をアピール・ポイントとしていくのか、明確に外部に発信して行くことが必要だと思う。	「自然と人の共存・共栄」をテーマに、従来のコレクション領域を拡充し、長野県ゆかりの作品だけでなく、国内外の優れた作品の収集や近現代の美術作品の拡充を図ります。
46	移動展	飯田市から美術館まで170km。南信地区が不平等にならないよう移動展を増やして欲しい。	県内各地で県内美術館と共同企画する「交流展」や当館の収蔵品を展示する「移動展」を開催します。
47	鑑賞	芸術が県民に広く知られ、楽しめるようにしてもらいたい。	
48	鑑賞	開館時間を延長してほしい。早くても19時、できれば21時くらいとってもらいたい。	夜間開館については、検討課題とさせていただきます。
49	鑑賞	美術館スタッフと、来館者が身近になる接点が欲しい。	アート・コミュニケータ(人とアートのつなぎ手)による対話型鑑賞や学芸員等によるワークショップを開催し、美術を身近に感じていただけるよう取り組みます。
50	鑑賞	市民参加の開かれた美術館 美術講座・討論会の開催、作家自身によるギャラリートーク 学芸員が積極的に展覧会の会場に現れ、来館者の質問に応じたり気軽に会話ができる雰囲気	アート・コミュニケータ(人とアートのつなぎ手)による対話型鑑賞や学芸員等によるワークショップを開催し、美術を身近に感じていただけるよう取り組みます。
51	障がい者	健常者と障がい者が一緒に鑑賞することも学びの場だと思う。	触れる美術作品やL字型の大画面に映像作品を投影するなど、障がいのある方と健常者が、ともに鑑賞できる場を提供します。
52	子ども	「鑑賞」「学び」「交流」の展開を基軸に、子どもが大人になっても来館できるような企画力ある内容を期待。	アート・コミュニケータ(人とアートのつなぎ手)による対話型鑑賞や学芸員等によるワークショップを開催し、美術を身近に感じていただけるよう取り組みます。 学校の美術館見学の受け入れ、鑑賞教材の貸出などを通じ、子どもの「学
53	子ども	目指す姿として「鑑賞」「学び」「交流」は子どもたちの育成についても大変重要なことだと思う。	

54	こども	子どもたちの「学び」の場として、県内の美術館がその機能を発揮できるよう、県立美術館が自ら先進的な取り組みを行うとともに、県内美術館のリーダーとしての役割を果たしてほしい。	び」を支援します。
55	こども	キッズデーの設定 常設展及び企画展開催中は「キッズデー」を設定し、子育て中でも芸術を楽しみたい親や、子供が小さな時から芸術に触れ合う機会を設ける。マナー教育はもちろん必要であるが、赤ちゃんが泣いたり、小さな子供が多少騒いだりしても寛大に受け入れる「キッズデー」の設定をお願いしたい。	これまでも「ベビーカーツアー」などを開催してきましたが、「キッズデー」についても、今後、その実現の可能性をさまざまな観点から検討します。
56	こども	子供たちでも気軽に訪れることのできる美術館。 ワイワイお喋りしながら鑑賞できる美術館。 ワークショップや講演会なので学べて体験ができる美術館。 観光客のシンボリック的存在になる美術館。	全て、新しい美術館が目指すところです。ただし、「ワイワイお喋りしながら鑑賞」については、静かに鑑賞したいお客様もいらっしゃるので、時間を区切るなどの方法を含めた対応を検討します。
57	県民ギャラリー	美術団体展の展示スペースについて、最大限の提供をお願いしたい。	新たに貸出専用の「県民ギャラリー」(515㎡)を設置します。
58	県民ギャラリー	各種団体が一つでも展示室が使えるようになっていくことを望みます。	展示室A～Dは美術館主催の展覧会に使用しますので、各種団体の皆様には県民ギャラリー、多目的ルームをお貸しします。
59	県民ギャラリー	展示室Dを県民、各種団体に開放してほしい。	
60	県民ギャラリー	県展においては特別に展示室の開放を考えてほしい。	
61	県民ギャラリー	県展を行う場合の彫刻の展示について、壁面に接する展示ではなく空間を確保できるよう場所を提供してほしい。	
62	県民ギャラリー	搬入搬出の展示作業がスムーズにできるようにしてほしい。	
63	県民ギャラリー	展示品が見やすく展示できるようにしてほしい	搬入搬出作業を含め展覧会がスムーズに開催されるようご協力いたします。
64	県民ギャラリー	来年度の北信美術会、県美術展がスムーズに行われるよう、ご理解、ご協力をいただきたい。	
65	県民ギャラリー	県民ギャラリーの利用料金は1週間単位となっておりますが、1日単位とならないでしょうか。(展覧会開催日が必ずしも1週間とは限らないので)	
66	補助金	県展の巡回展にも補助金を出して欲しい。	企業財団・公益信託等民間も含め、各種助成・支援制度がありますので、活用をご検討ください。
67	県の役割	県内美術館を総括する存在であってほしい。	長野県が設置する唯一の美術館として、県内美術館の中核的役割を果たすべく、「鑑賞」「学び」「交流」の3つの柱により各事業を展開します。
68	指定管理	将来的には県の直営の美術館にしていきたい。それは、さまざまな	信濃美術館の管理・運営は昭和61年度から長野県文化振興事業団に委

	者制度	災害など、文化財などに県として責任をもって対応すべき事態に、県立の美術館として、行政的にもリーダーシップを発揮すべきだから。指定管理だと災害対応をあらかじめ業務に入れることは難しく、県立としての動きができない。文化に責任を持つ県の姿勢が問われると思う。	託し、平成 18 年度からは指定管理者制度を導入し現在に至っています。美術館の運営は専門知識及び経験が必要であることから、引き続き指定管理者による管理・運営を予定していますが、設置者としての責任は県が果たしてまいります。
69	連携	近代美術にのみに偏らず、前近代美術についても、県立歴史館などと連携して調査や展示を実施してほしい。	県立歴史館と連携しながら調査や展覧会を検討します。
70	専門主事	美術館に専門主事を配置してほしい。広く全県のこどもの美術に対する情操を高めるためには学校教育に精通した専門主事の配置が不可欠。	現職教員を配置する予定はありませんが、学びを担当する正規の専門スタッフを配置し、学校と連携しながら取り組みます。
71	専門主事	学校教育と連携するため、専門主事を配置してほしい。	
72	専門主事	学校教育との連携を図るために美術館スタッフに現職教員が派遣され、鑑賞教育の充実に向けられることを期待します。	
73	スタッフ	若い学芸員、スタッフの熱意を期待。	
74	スタッフ	学芸員の定着率を維持、向上できる人事、組織運営に努めていただきたい。県内出身者の学芸員の比率も意識してほしい。	美術館は指定管理者制度により外部の事業者が運営しています。学芸員の採用にあたっては、意欲のある人材を確保できるよう取り組みます。
75	美術館運営	美術館完成後も、今後について話し合いをしていくことが良い。	開館後の美術館運営については、県が設置する美術館協議会でご意見をいただきます。
76	長野市活性化	長野駅から諸寺院を通過して善光寺・諸寺院・美術館まで至る中央通りを「歴史と美術通り」とし、市内の活性化に繋げる。長野駅に美術館までの行き方を表示。城山公園西、北のバス停の名に「〇〇美術館」と（ ）書きで追加。中央通りの権堂から北の道路に「歴史と美術通り」の表示（小旗、ポスター）。長野市芸術館に至る道は「長野芸術通り」とし相乗効果を出す。	ご意見は長野市と共有させていただきます。
77	交流	地域とのつながりが大事だと思うので、地元長野市や善光寺とのコラボを推進してほしい。特に、若い事業者や大学等との連携もお願いします。	地域と連携したイベントを随時開催します。